

小さな戦争を

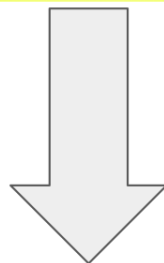
解決に導くために

～広島修学旅行で学んだ平和学習から考えたこと～

55期1組



自分の身のまわりで起きている小さな戦争とは何か



家庭内でのケンカ

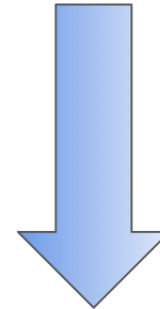
学校で起きる小さなトラブル

普段のケンカまでの流れ

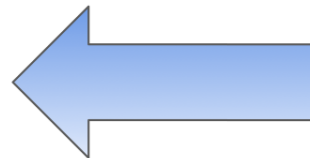
何かしらの出来事が起きる



一方が相手に対して喧嘩腰になる



いつの間にかハチャメチャなことになっている



どちらとも言い合いになる

広島での平和学習で学んだこと

初めて広島での原爆ドームに行き現地で平和について話を聞いたり、平和資料館で核兵器の使用についての文を読みました。読んだ資料の中には2017年7月7日にニューヨークの国連本部にて採択された核兵器禁止条約やオバマ大統領の広島でのスピーチ文を見て改めて核兵器の恐ろしさを学んだと共に改めて自分の「ちいさな戦争(喧嘩)」がどれほど小さなことかがわかりました

これからの解決策

広島市の平和記念資料館で1945年8月6日に起きた広島市の原爆投下のことについて被爆者からの言葉が書かれている資料を見つけました。その中に「**どちらかが引いていれば何も起こらなかっただろう**」と書かれていました。その言葉が自分の小さな戦争においても言えることだとわかりました。

これからは喧嘩になる前に自分が引こうと思いました

帰宅後解決策を実行しました.....

その結果

解決策を実行した結果

何かしらの出来事が起きる

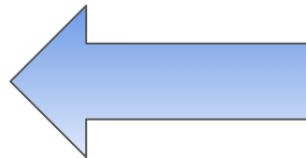


一方が相手に対して喧嘩腰になる



うまく喧嘩がまとまりました

しばらくして終わった



自分が言うのをやめた。

最後に.....

自分が引くという解決策をこれからも実行して行きたいと思います。また自分が引くと言うのは我慢するということと同じことですが、時にはただ我慢するだけではなく自分自身の意見をいうことも大切だと思いました。今回広島での平和学習から学んだことはこれからの社会にも役立つことだと思いました。これからも実行していきたいです。

END.....